

## 中間市立中間西小学校 藤田凌士先生 河内一誠先生



福岡県中間市の全小中学校では、GIGAスクール構想をうけ2021年度より本格的に一人一台タブレットを整備し、学研のデジタル学習ドリル「ニューコース学習システム」、デジタル百科事典「ニューワイド教材ライブラリ」の使用を開始しました。

導入時は、それまで端末を使う機会が少なかったことが懸念点でしたが、「ニューコース」「ニューワイド」を使うことで自然と児童のICTスキルが伸び、学習の幅が広がったのを実感されているそうです。

今回は、中間西小学校でICT学習を推進されている藤田凌士先生（3年生担任）、河内一誠先生（6年生担任）にお話を伺いました。

使用学年 : 1~6年  
使用科目 : 国・算・理・社・英  
導入ソフト : ニューコース学習システム  
ニューワイド教材ライブラリ

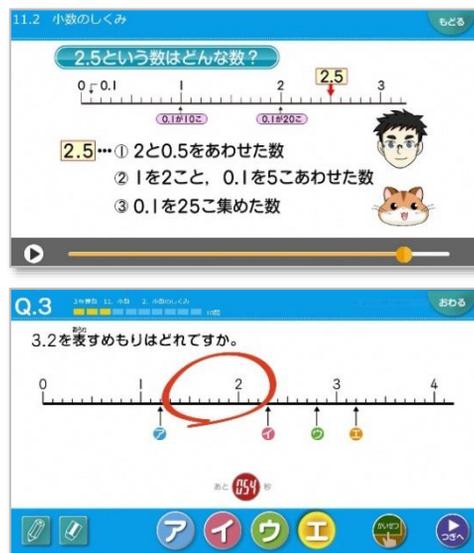
### 活用シーン

◆算数の授業でよく使っています。授業の最初に「ニューコース」のドリルから課題を配付して、5分間、学習の振り返りをします。子ども達はタブレットを使うのが楽しいようで、集中して取り組むので「これから学習を始めるぞ」というスイッチの切り替えにもなっています（藤田先生）。

◆テスト前に苦手な単元を復習させたり、朝学習で自分の興味のある内容を選ばせて使わせたりしています。最初は教師が学習内容を指定していましたが、「今日は動画を見る」「この問題を解く」と子ども達が自分で決め、前向きに取り組む様子が見られるようになりました（河内先生）。

◆導入当初は、あえて自由に使って良い時間をつくり、どんな内容や使い方があるか楽しみながら体験できるようにしました。それが「ニューコース」を使った学習の定着につながったと思います（藤田先生）。

◆6年生もまずは好きに使わせてみたところ、子ども達自身が工夫して良い使い方を見つけ、友達と話し合い、クラス全体に広がっていく様子が多く見られました。学力テストの後に「前の学年の問題がわからなかったら、『ニューコース』で戻れるから使ってみてね」とアドバイスをしたら、そこに良さを感じて積極的に使い始めた児童もいます（河内先生）。



▲「ニューコース」の画面例。解説動画（上）は、先生とキャラクターのかけあいでの学習が進む。要点チェックドリル（下）は1問ずつ正誤判定され、間違えやすい問題には解説ボタンが表示される。

## 評価ポイント

◆ 端末やネット上には様々な情報やアプリがありますが、ドリルは「ニューコース」、調べ学習は「ニューワイド」と決めておくことで、子ども達は迷わずに取り組むことができるようになりました。そのおかげで、端末を使った学習機会が増えました。

また「ニューワイド」は、例えば生き物を調べると、その姿だけでなく鳴き声もわかるため「目と耳の両方で学習できる」点が良いと思います。

すきま時間などで子ども達に自由に使用せると「こんなのがあった、知らなかった、こっちもみてみよう」と、**興味関心にあわせて、どんどん取り組んでいくので、すきま時間と調べ学習でとくに役立っています**（藤田先生）。

◆ 以前から自主学習に力を入れていましたが、問題集だと決まった学年や単元しか学習できません。「ニューコース」なら必要な内容やチャレンジしたい単元を選んで取り組めるのが良い点だと思っています。なかには、「ニューコース」の問題をあえて自分のノートで解いてみるという児童もいました。**自分に合った使い方を考えて、主体的に学習に取り組むきっかけにもなっている**と思います。

また他の先生方からは、「ニューコース」を活用すれば、プリントをたくさん準備しなくても良いのでありがたい、という声があがっています。準備したプリントだけだと、どうしても個人差が出てしまいますが、「ニューコース」があれば、残った時間も学習に集中できるという利点もあります。児童のアンケートには、もっと問題数を増やしてほしいという声もあって、より学習に前向きに取り組んでいると思います（河内先生）。



▲ 音声や実験動画なども調べられるデジタル百科事典「ニューワイド」。

### アンケート結果

同校が6年生にとったアンケート結果（右・下）。河内先生によると、書くことに苦手意識を持つ児童も多く、ノートと鉛筆を使わず学習できる点も好評なポイントだと話す。

Q1「ニューコース」は学習に役立ちますか？



Q2「ニューコース」の良いところは？（一部抜粋）

- ・自分にあわせて復習できるし覚えやすい。
- ・予習ができる。発展問題がある。
- ・解説がわかりやすい。・動画がある。
- ・キャラクターがかわいい。
- ・1～6年までの学習ができる。
- ・自分が苦手なところや頑張りたいところの練習や復習ができるところ。
- ・社会など教科書にのっていない問題もある！
- ・テストが次の時間にある時に、その単元を復習ができるところ。…など



▲インタビューにご協力いただいた藤田凌士先生（左）と河内一誠先生（右）

インタビュー実施日：2022年2月7日